

# 国史跡中里貝塚 保存活用計画策定委員会 かわら版

第6号(令和元年9月発行)

中里貝塚の保存・活用・整備に向けた具体的な方向性を  
話し合う保存活用計画策定委員会の第9回会議を開催しました！

令和元年8月27日に北区飛鳥山博物館にて第9回「中里貝塚保存活用計画策定委員会（以下「委員会」という。）」を開催しました。今回の委員会では、議題3つと報告2つがあり、保存活用計画案の全体レイアウトの確認と前回委員会からの修正箇所について、検討を行いました。

## 第9回委員会（令和元年8月27日）

### 議題

- (1)大綱および保存管理計画について
- (2)活用計画および整備計画案について
- (3)運営体制の整備、施策の実施計画の策定・実施、経過観察について

### 報告

- (1)中里貝塚委員会だより（かわら版）の発行
- (2)ワークショップの報告

## 主な意見

- ・ワークショップで視察に行った下野谷遺跡のVRが分かりやすかったので、中里貝塚でも導入できると良いと思う。
- ・史跡の何を“売り”にして来訪者にどう見せていくのか、地元の方々と一緒に知恵を出し合いながら検討を続けてほしい。

※第1～9回の概要は、北区飛鳥山博物館のホームページにて公開しています。



●本委員会は、傍聴いただけます。くわしくは、事務局（北区飛鳥山博物館）までお問い合わせください。

**中里貝塚とは**…国内最大規模の貝層を有する、縄文時代の“水産加工場”です。マガキとハマグリの干貝加工に伴い廃棄された貝殻が、最大4.5mの厚さで堆積し、貝類の剥き身処理に関わる遺構なども発見されている貴重な遺跡です。



## <保存活用計画とは>

国指定の文化財等について、保存活用の考え方を明確化し、必要な諸手続などを整理して、文化財等の確実な継承を図るために作成する計画です。

お問い合わせ（事務局）

北区飛鳥山博物館

TEL：03-3916-1133  
<http://www.city.kita.tokyo.jp/hakubutsukan/>



■本かわら版は、委員会で話し合われた内容等、を昭和町地区自治会連合会管内の皆様にお知らせするため発行するものです。